

益丸なかよしサロン

問：本町の高齢化率はいくらか。

答：令和元年9月末現在で65歳以上は、38・24%である。

問：若い人たちの考えを膝を交えて考えたらどうか。

答：何年か前に町長が車座対話を行ったことがあるが、なかなか人が集まらないとのことであつた。町長部局へ伝えた。

サロン中尾

問：津波避難路にある橋の強度はどうか確認してほしい。また、津波避難路になっている町道で低い箇所があり大雨で冠水する箇所がある。道路を上げるとか、陸橋をつくれぬか。

答：津波避難路にある橋の強度はどうか確認してほしい。また、津波避難路になっている町道で低い箇所があり大雨で冠水する箇所がある。道路を上げるとか、陸橋をつくれぬか。

答：担当課と協議し強度の確認を行うよう要請した。

道路の高上げについては、避難路として重要な路線なので担当課と協議している。

陸橋建設の要望については、担当課にないだ。

問：避難路に外灯がない。夜間の場合や停電時を想定した外灯を設置できないか。

答：様々なことを想定した対応をするよう町にないだ。

問：隣の町に避難センターができています。そこに避難できないか。

答：隣町と連携を取れるよう対応する。

問：鳥獣被害について対策はどうなっているか。

答：現在、わななどで捕獲

している。自己防衛も大事なので電気牧柵の補助（補助額は、補助対象経費の3分の1以内で限度額3万円）なども活用してほしい。

問：語る会は毎年行う計画か。

答：本年度は校区単位で1か所、さらに地域サロンなど各種団体との意見交換を実施した。今後も継続していきたい。

サロントuramisse

問：先般の大雨の影響でがけ崩れなどが多発した。その後の対応はどうなったか。

答：災害査定のためしばらく猶予をいただきたい。

問：運転免許証を返納した場合、ごみ捨てが不便になると思われる。対策はあるのか。

答：状況を確認した上で、必要であればごみ出しサポート事業で収集を依頼できる。

問：町のホームページを閲覧できないため、空き家の状況を確認できない方もいる。情報提供には配慮してほしい。

答：さらに広報誌などの活用も促す。

こすもすサロン

問：畑の中の農道が狭くなっている。どうにかできないか。また、タイヤショベルを町で買ってやれないか。業者に道路の所を草刈してもらおうが、すぐ繁って通行に支障がでる。畑と畑の間と道路側の土手の草が繁ってどうにかできないか。

答：ショベルカーについては、即答はできない。法人によっては、きれいにしているところもある。逆に手入れをしない所もある。

問：中沖のドクターヘリの発着場は公民館のグラウンドである。しかしどこを通っても道路が狭いがかできないか。

答：陳情などで過疎対策事業などに乗せてもらう。



サロン中尾